

スマホ・ネット安全教室

郡上人権擁護委員協議会

令和8年5月19日（火）、郡上市立八幡中学校で、本年度のスマホ・ネット安全教室を行いました。

NTTドコモの「あんしんインストラクター」の方を講師として、全校生徒255人が、各教室で、リモートによる研修を行いました。

「上手な情報活用とリスクを考えよう」をテーマに、

- 自分のリスクを考えてみよう
 - どのくらいのリスクがあるかを考えてみよう
 - どのように対応するかを考えてみよう
- の3つについて、ワークシートも使いながら、考えました。

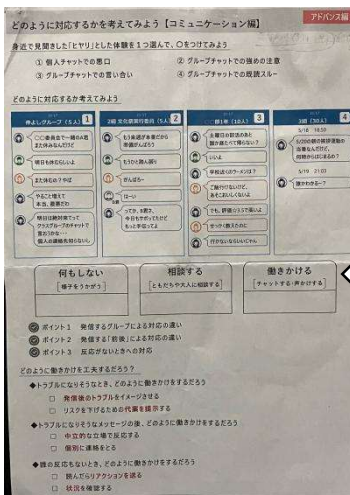


自分のスマホやインターネットなどの情報技術の使いかたを振り返り、起こりやすさと被害の大きさのグラフにして、どんなリスク（危険性）があるかを考えました。

SNSでフォローが来た時、プロフィールどおり的人かはわからない、甘い言葉に惑わされない、SNSの利用状況も確認する等を考えてフォローを返したり連絡をすることを教わりました。



グループチャットでどのように対応するのか4つの例をもとに、トラブルになりそうなどとき、トラブルになりそうなメッセージの後、誰の反応もないとき、それぞれどのような働きかけをするのかを考えました。



どの生徒も、集中して話を聞き、講師の質問に答えたり、仲間と話し合っただけでなく、自分のこととして、真剣に学ぶ素晴らしい姿が見られました。



最後に、人権擁護委員が、自身の体験から具体的な事例を話し、ネットの危険性を訴えました。そして、ネットでのトラブルやネット以外でもいじめや人との関係でいやな思いをしているなど、困ったことがあったら、すぐに保護者や先生、周りの大人などに勇気を出して相談してほしいことを伝えました。また、「SOSミニレター」の紹介もして、様々な相談の方法を伝えました。

「グループラインに関係のない人を招待してしまって、そのグループの大切な情報を送ってしまいそうになった。」

「『宝くじが当たりました。振込先の確認のため銀行口座を教えてください。』
『購入した商品の代金が振り込まれていません、すぐに振り込んで下さい。』
といったメールが毎日、大量に送られてくるが、騙されないようにしている。」



《生徒の感想》「今日話を聞いて、SNSやネットはいろいろな人とつながれて便利だけど、全員の顔が見えるわけではないし、チャットでも、文字だけで伝えるから、自分の伝えなかったことが伝わらず、トラブルになるなど、便利だけど常に危険と隣り合わせだなと思いました。それから、情報の技術は発展していくと思うけど、それと同時にリスクもどんどん増えていくと思うので、今日のリスクの考えとか対応の話を生かして、情報を活用していきたいと思いました。」

今回の研修が、ネット社会の便利さやリスクを考えて、SNSやスマホを上手に使えることにつながっていくものと期待します。

